

弓道の喜びと奥の深さ

深谷市弓道連盟
監事 石井 健師

体協ふかやの読者の皆さんは「弓道」にどんなイメージをお持ちでしょうか？弓矢のスポーツである。それも一つです。弓矢は最も古い狩の道具の一つで、ある時期、人が生きてゆくための手段でした。その後合戦に用いられて武器となりました。しかし中国では二千年以上前から、その不思議な魅力が「人徳につながる」ものとして、単に物を射抜くだけでなく、修養の糧と考えられるようになり

ました。日本でも武術であったものが修練を通して武道となり、武器の役割を終えた後も今日まで伝えられてきました。そういう歴史を通してみると、弓道が多くの側面を持つていることがわかります。弓道は言葉を変えると「姿の武道」とも言えます。矢を一本引く間を八つの節目に分けて各節目がいかにか静かに気合を込めて動作できるか。そして射放した矢は秒速約150m、時速500km以上で的中します。しかしたとえ当らなくても平常心、顔色変えずに残心をとり物見を返す、そのあたりに弓道の真の面白さがあるように感じられました。



深谷市ゴルフ連盟は、昭和56年に設立され、平成18年の市町村合併により、深谷・岡部・川本・花園による新しい深谷市ゴルフ連盟が発足し、平成22年には、30周年を記念して式典が行われました。

ゴルフ連盟の活動状況

深谷市ゴルフ連盟
副理事長 佐野 省三



現在、ゴルフ連盟では、4月に体協主催の市民ゴルフ大会(上武ゴルフ場)10月にゴルフ連盟主催の市民ゴルフ大会(岡部チサンカントリークラブ美里コース)どちらも2百名ほどの参加者で毎年開催しています。その他レディース大会、研修会などを行っています。特に研修会には、年に三回実施して、その成績により、埼玉県ゴルフ協会主催の市町村対抗ゴルフ大会に選手16名を派遣しています。この大会は、65歳以上の部1名、55歳以上の部1名、女子の部2名、年齢無制限の部4名、合計8名で上位7名の合計スコアで順位を争います。6月に予選が行われ、およそ60チームが参加し、そのうち上位半数が9月に行われる決勝大会に出場できます。

ただ一つ残念に思っている事があります。それは、決ソニエーション)としての役割も明確になり、より市民へのサッカーの普及と発展に寄与できるようになりました。さて、本年も日本サッカー界は、ロンドンオリンピック、ワールドカップ最終予選などがあり、サッカーファンはもとより、国中がサッカーの話題で盛り上がることは間違いないでしょう。特に昨年、ワールドカップで優勝し国民栄誉賞に輝いた、なでしこジャパン。そのチームを率いる佐々木則夫代表監督は、深谷市サッカー協会とは深く縁のある方であり、オリンピックでの優勝を我々も願っており心から応援しています。そして深谷にも是非、凱旋していただきたいと思えます。



山に遊ばせてもらう

深谷市山岳連盟
会長 武井 正男

今年5月のGWに北アルプスで痛ましい遭難事故が複数ありました。下界では初夏の陽気でも、ひとたび寒気が流入すれば北アルプスのような高山地帯は厳しい冬山に変貌します。たとえ装備を整え、体力も技術も身につけたとしても、人間の力では自然に抗することはできません。過信することなく「山に遊ばせてもらう」感覚で、自然を慈しみながら安全で楽しい登山を続けていきたいものです。

山岳連盟では、6月に深谷市消防本部内にあるクライミングボードを利用し、全4回の「市民クライミング教室」とその成果を発揮していただく「第12回市民スポーツフェスティバル」を開催いたしました。



創立60年に思う

深谷剣道連盟
会長 剣持 昭夫

田高義先生を中心に深谷剣道連盟を発足させました。(埼玉県剣道連盟より1年早く組織しています)当時は、深谷地方剣道連盟と称し深谷町・岡部町で組織し、副会長は明戸の関口長安先生・新戒の松本近太郎先生でした。主な会員は、岡部の新井与次右衛門、加藤彦、本郷の河井二郎、西口昭洋、普濟寺の内海栄次郎、手計の橋本春雄・栗田健司、柿沼広志、伊勢方の香川辰巳、町田の福地武男、幡羅の関根留蔵さん達でした。これらの先生方は、農業を生業として米や野菜作りをした人たちで、暇を作り、疲れ

このたび、深谷剣道連盟が創立60年を迎えたことは、連盟会員一人ひとりととって誇りであり、入会当時に頼りみまずと感慨無量のことだと思います。昭和20年の世界大戦後、連合軍の占領政策の一環として、剣道は強制的に禁止されました。勿論、学校剣道も追放されました。このような中で、本連盟は、昭和27年に顧問役の中瀬の河田元助先生や初代会長の森



サッカー協会となって

深谷市サッカー協会
理事長 田辺 和正



昭和33年、深谷市サッカー連盟として発足以来53年目にして、県協会の指導もあり、昨年度より「サッカー連盟」から「サッカー協会」と名称を変更しました。これにより日本協会、県協会へと続く市FA(フットボールア

昭和20年の世界大戦後、連合軍の占領政策の一環として、剣道は強制的に禁止されました。勿論、学校剣道も追放されました。このような中で、本連盟は、昭和27年に顧問役の中瀬の河田元助先生や初代会長の森

昭和33年、深谷市サッカー連盟として発足以来53年目にして、県協会の指導もあり、昨年度より「サッカー連盟」から「サッカー協会」と名称を変更しました。これにより日本協会、県協会へと続く市FA(フットボールア



少林寺拳法連盟の活動

深谷市少林寺拳法連盟
理事長 松本 裕史



催し、より多くの方々に少林寺拳法を体験して頂く場を設けております。毎回大変好評で教室終了後にそのまゝ入会される方もいらっしゃいます。また、最近では連盟のホームページをご覧になり見学に見える方も増えていきます。少林寺拳法を技術の面から見ると、護身術としての武道であるとされる方が多くいらっしゃいます。しかし、その本質は相手を倒す事が目的ではなく、「人づくりのために創始されたものであり、学校や職場といった社会活動の場で、慈悲心と勇気と正義感を持ち、積極的に行動できる真のリーダーとなる人間を一人でも多く育てる事が真の目的なのです。

私達深谷市少林寺拳法連盟は主に深谷ビッグタートルで活動を行っております。深谷市少林寺拳法連盟では、年間を通し数回に分けて小中学生・高校生・親子・中高年の方々など幅広い年齢層を対象とした護身術教室を開



中学体育「柔道」 授業開始

深谷市柔道連盟
会長 河田 英一

深谷市柔道連盟は、平成18年一市三町合併に伴い新しく生まれ変わりました。現在、連盟に加入している団体は、深谷柔道会、深谷警察署少年柔道教室、関口道場、深谷柔道クラブ、深谷柔道S.E.I.W.A.会、岡部柔道クラブ、川本柔道クラブ、花園柔道塾他で、中体連に属する深谷中学柔道部、深谷南中学柔道部、幡羅中学柔道部、岡部中学柔道部、花園中学柔道部、川本中学柔道部の部員達を合わせ

ると、合計約500名の柔道愛好家達が、毎日、それぞれの道場で稽古に汗を流しております。

深谷柔道連盟は、過去10年余、深谷商業高校の柔道場をお借りし、指導者の先生方の協力を頂き、市内全中学生の合同練習を行って参りました。市柔連は、このことが深谷市全体の柔道のレベル向上に貢献しているのではないかと自負しております。また、平成23年度は、この合同練習を、小学生(1~6年生)にまで拡大し、加えて、参加団体も深谷市内の団体に限定せず、大里郡市柔道連盟(深谷市柔道連盟の上部組織)の加盟団体にも声をかけ、子供達が、柔道を通して、できるだけ多くの仲間と交流できる機会を作っていました。

さて、去る平成24年5月9日(水)、深谷市立南中学校武道場に於いて、深谷市教育委員会(小柳光春教育長)学校教育課相川至宏教諭のイニシアティブのもと、柔道指導者研修会が開催され、いよいよ中学体育の柔道授業が始まる事になりました。嘉納師範が理想とされた柔道を通して「自己実現」、「自他共栄」の実践が、公教育のなかで具現化されていく可能性に、嘉納師範も、恐らく、草葉の陰で涙されているのではないのでしょうか。しかし、他方、中学校の体育科教員には柔道を専門的に経験した者がきわめて少ないという事実がありま

す。深谷市柔道連盟は、中学体育「柔道」授業開始に当たり、これからのさらなるきょうりかぎりの支援を行ってゆく覚悟です。



深谷市スキー連盟は、9クラブあり、登録会員数は182名で、28名の公認スキー指導員、47名の公認スキー準指導員、合計75名の資格者がいます。

私たちの連盟は埼玉県スキー連盟の第8ブロックとして活動をしています。こんな雪無県であるにも関わらず、埼玉県の資格者登録数は、2044名もいます。全国でも5本の指に入るくらい資格保持者県です。

公認スキー指導員、 準指導員

深谷市スキー連盟
総務委員長 小林 正行

指導員資格を有する場合は、2年に1回は、1年に1回行われる理論、雪上での研修会に参加しないと資格を喪失してしまいます。このようにスキー指導方法論、技術を切磋琢磨しています。

ところで、準指導員資格についてですが、この資格については、埼玉県スキー連盟が主催して検定会を行っていただきます。今年は、48名の受検者が合格者28名でした、この検定会の合格率は、例年60%程度です。

資格の中では、比較的に取得しやすいものだと思います。

10年ほど前ですが、私が受検した時は、100名を超える受検者がいました。昨年は受検者が50人を切っていました。埼玉県の資格者登録数は、2044名もいます。全国でも5本の指に入るくらい資格保持者県です。

自分のスキー技術の自己実現だけでなく、スキースポーツの普及と発展の実現、楽しさ、爽快感などの体感の実現、新しい理論、技術の情報発信の現のためのツールとしても指導員資格が必要で、スキーの仲間、人口を増やすためにもより多くの指導員資格が必要だと思えます。ここ数年、深谷市スキー連盟からは、1名程度の受検者です、より多くの方たちに目指してもらいたいものです。



公式水泳大会誘致に 向けて

深谷市水泳連盟
副理事長 中原 澄生



今年4月1日に、アクアパラダイスパティオにて2012年度日本マスターズ水泳短水路大会を実施しました。主催社団法人日本マスターズ水泳協会、主管深谷市水泳連盟、協賛スイミングクラブ深谷及びサンラインスポーツ

競技内容は、自由形・背泳ぎ・平泳ぎ・バタフライの25m・50m・100m又自由形のみ400mの他に100m個人メドレー・200m個人メドレー・メドレーリレー・フリーリレーを男女別年齢別で実施しました。北は山形県、南は兵庫県まで百二十チーム、述べ参加種目六百三十三を実施しました。年齢は五歳区切りで95歳までの参加がありました。プールは公認プールで25m×6レーンです。スタート台の高さ、プールの水深も申し分がありませんでした。

唯一残念ことに、コースロップによる競技中の波消しが不十分で泳ぎ辛さがあったとの感想が数多くありました。好記録をねらう選手としては

致命的であります。次回の大大会に向けて早急な改善が望まれます。

埼玉県の水泳大会は、ほとんどが県南の川口・大宮を中心として実施され、県北では実施されていません。今後、県北地区深谷での公式水泳大会誘致に向けて前述の、コースロップの改善及び、タッチ板、電光掲示板の設置により良い大会の誘致や運営が出来るものと思われま



ソフトテニス連盟について

深谷市ソフトテニス連盟
会長 平 清治



今年度から、深谷市ソフトテニス連盟の会長に就任しました平(ひら)です。どうぞ宜しくお願い致します。前市川会長には色々な事を教えて頂きながら長年ソフトテニスの普及に努めてまいりました。

先ずは私の紹介を少ししたいと思います。生まれは鹿児島で、集団就職で川崎の東芝に入社し、深谷工場のカラーブラウン管の製造ラインが出来る時に、転勤してきました。30数年前、未だ各事業場で軟式テニスが盛んな時に、市民大会で各事業場毎に何組か参加して戦ったことがあり、懐かしい記憶となつてよみがえってきます。その後、ジュニアテニスや、早朝テニスのお手伝いをするようになり、ソフトテニス連盟の一員となつて現在に至っています。

ソフトテニス連盟では、毎年早朝テニス教室を開催しております。一般の方で初心者から中級者や中学生・高校生など百人以上の参加者を得て、7月から8月の土曜日・日曜日に実施しています。今年も7月21日の土曜日から8月19日の日曜日の全10回

で実施します。初心者の方には、ベテランの指導者が懇切丁寧に指導し、試合が出来るようになるまでを指導してまいりますので、大勢の方の参加をお待ちしています。又市民大会は、例年秋に開催する予定です。常盤コート、及び深谷商業高校のコートを借用して開催しています。今年9月16日に実施の予定です。その他ジュニアテニス教室は、4月15日から日25年3月末まで実施中です。

ソフトテニス愛好者が、今以上に増えるように努力したいと思っておりますので今後共宜しくお願致します。



深谷市長杯卓球大会 の歴史(思い出)

深谷市卓球連盟
参与 石川 栄治



今から49年前、私は当時深谷商業高校の卓球部の監督をしていました。指導する生徒、選手の為県北大会を開催し生徒、選手の実力を見る大会を開催したいと考えました。

私は青年会議所のメンバー

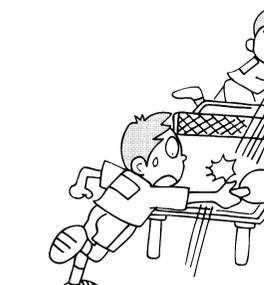
であり、当時の理事長である新医院院長(故人)に相談、会員皆様の賛同、協力により予算を頂き、当時の木村市長をお願いし(カップ)を頂き大会が開催出来る事となりました。第1回大会より、もう48回になります。

第1回大会は、先ず卓球台集めから始まり、大会会場も当時の深谷中学校(城跡公園)の体育館でした。参加人員は今も鮮明に記憶が有り700名にもなり、決勝戦は夜10時に開始になった事を今でも思い出します。

当時は台、会場も無く複数の施設から台を集め、参加者の多数の為運営にも多大な努力、時間を要しました。結果は私が監督指導の深谷商業の北岩(主将)君が、優勝を果たしてくれました。彼はその後県でベスト4位に入る選手に成長してくれました。又3年後には小林君も県代表に

なりこの大会の目的が、果たされたと思えます。

現在、会場は規模、設備環境も揃う総合体育館で開催になり、参加者も地元埼玉工業大学の(関東大学一部リーグ)選手を入れて1000名に迫る大会に成りました。いつか大会から日本一、日本を代表する選手が出る事を祈ります。



ソフトボール教室の成果

深谷市ソフトボール協会
事務局長 熊倉 春雄

深谷市では毎年12月に日本ソフトボールリーグの戸田中央総合病院チームを講師に招き小中学生を対象に技術の向上および心身の育成を目的として行っております。

平成20年からは埼玉県ソフトボール協会東北支部のバックアップにより、深谷市以外の東北のチームも参加することになり、東北チームの技術向上を図るようになりました。それに伴い参加チームも増加し、今まで仙元山グラウンド

で教室を行っていましたが狭くなり、昨年から岡部中央グラウンドで行う様になりました。その成果の表れでしょうか小学生の花園女子ソフトのチームが全国大会に出場する様になりました。また、今年の5月に熊谷市で行われた全日本中学生男女大会においても川本中、花園中、城南中(寄居町)のメンバーで編成されたチームが8月大阪で行われた全国大会に出場することが決まりました。

これも偏に講師の戸田中央総合病院チームのお蔭と講習内容をチームに生かした指導者の指導力と選手の頑張り、保護者の理解が合い噛合つての成果と思えます。講師の戸田中央総合病院チームは昨年の2部から昇格して今年は1部にて活躍中です。戸田大会が9月にありますので応援をお願いします。

今年も岡部中央グラウンド

にて行いますので是非ご観覧頂きたく存じます。



楽しさの中にもマナーを

深谷市テニス協会

副理事長 熊木 宏

昨今のテニス界の話題と言え、現在世界ランキング19位(ATP)の錦織圭選手の手台頭です。5歳でテニスを始め、更なる飛躍を目指し世界を渡り歩いている。この様に幼少の頃からスポーツに慣れ親しむ事が大切であると思えます。

当協会でも、まずはテニスというスポーツに慣れ親しんで貰うべく、小学生向けのジュニアテニス教室を継続的に開校しています。1993年

の第1回をかわきりに、今年度第10回を迎えます。本教室の目的は「挨拶等の基本マナー」を掲げています。コートについて人に出会ったら「おはようございませす、コートから帰る時には「ありがとう」ございました」「さようなら」等の挨拶の実施と共に「ラケットを振らない時は大切に胸元で抱きかかえる事」を指導しています。又、指導者向け指導ガイドの中にも明文化し意識共有しています。

此処までですと厳しい教室の様に受け取られますが、基本は「遊びの中で基本的な運動動作を身に付ける」「みんな仲良く」をモットーとしています。受講生の中にはコーチの言う事は、一言たりとも逃がすまいと真剣な眼差しで聞いています。今年度は、今年がオリンピックの開催があり、ロンドンで日本人選手が活躍すればバドミントン熱はさらに高まるだろうと思われているし期待しています。



差しを感じる事も多々あり、真剣勝負で挑んでいます。楽しい思い出となれば、最終日には終了証書を授与してあげたいと思います。また、逆にならぬように、今後も継続的な開催を推進し、テニス普及の一助となれば幸いです。

バドミントン日本リーグ 深谷大会を終えて

深谷市バドミントン連盟

理事長 古屋 雅美

昨年12月23日に深谷ビッグホールでバドミントン日本リーグ2011深谷大会を開催した。15年前同様の大会を招致し手探りで運営した経験があるが、環境は変わっている。実際の日本協会、県協会の組織強化が図られており運営は順調に行われた。観客動員が何処までかが心配であったが、2500人もの観客があり大いに盛り上がった。この背景にはいくつかの理由がある。埼玉県をベースとして活動している日本ユニシスが男女とも一昨年のチャンピオンで昨年優勝争いをしていたこと、人気選手の男子池田選手、女子潮田選手が出場したこと、対戦のNTT東日本に埼玉県出身で全日本チャンピオンの田尻選手がエントリーされていたことだ。

当然のように熱戦が繰り広げられトップ選手のプレーを間近でみて感心と感嘆の声があがった。シャトルの速さや力強さ、フットワークの機敏さ、柔軟さはTVでは感じられない迫力がある。大いに参考になった。開催してよかったと実感した。

埼玉県はジュニア、中学、高校、社会人と国内のチャンピオンを輩出しており、バドミントン競技のレベルは非常に高い。昨年は大宮の高校2年生女子が全日本チャンピオンになって話題になった。



小学生の指導と 今後の普及

深谷市バレーボール連盟

金子 博行

私は、仲間達とクラブチームを作り、バレーボール連盟に加盟しました。仲間とやるバレーはとても楽しく熱心に活動していました。それからしばらくして役員となり、大会等の運営側にもたずさわることになりました。いろいろな人達に支えられ活動が出来ていることを知りました。

バレーボールの底辺拡大の為に深谷市も、小学生の強化を行うことになり、指導普及の活動を手伝うことになりました。

した。当時、深谷市の小学生のチームは3チームしかありませんでしたが、バレーボール教室開催などの取り組みで、現在では合併も併い、11チームまで増え、他市に比べても活発な活動になってきました。私も、子供達の指導に当たっていますが、子供の願いは単純で、上手になりたいとか、試合に勝ちたいという事です。しかし、その為に真剣に努力をすることに広がる可能性は無限大です。それをどこまで広げてあげられるかは指導者次第という訳です。子供達は全力でぶつかってくるので、指導者も全力です。努力も大きく責任もあり、決して楽なことではありません。しかし、目標を達成した時の子供達の笑顔などを見ると、そのようなことはすぐに吹き飛んでしまふ、その感動はとても大きく、次への原動力となります。私



達、指導者も子供達から数多くのことを学び、より大きなものを貰っているのです。今、子供達のスポーツ離れが深刻な問題となつています。私達はこの問題を真摯に行い、子供達がスポーツをしやすい環境作りをしていかなければならないと考えています。そして競技の枠を超えて子供達の笑顔と夢があふれる場所を作れるように皆さんと協力していきたいと思います。

ボウリング用具について

深谷市ボウリング連盟

会長 村田 寛



よく聞かれる事がある。どうしてボウルが曲がるのか。ボウルにはバランスがあり、ボウルの中心と重心がずれており回転しながらファンマ効果が出て破壊力が益す。1〜3番ピン云々のボウリングの確立が高い。その為フック

クボウルを投げる。横回転を出す為リリースの際親指を時計の10時の方向にすれば横回転が強く出る。レイン上にはレイン保護の為事前にオイルが塗ってありオイルの切れ代所からボウルへの摩擦抵抗が強まり横回転により曲がる。ボウルのウエイトバランスには規格があり上下(トッププエイト)3オンス以内、左右前後各1オンス以内と定められており、ドリラーはボウラーの投球を見て規格内にドリルする。材質にも柔らかい硬いがあり、柔らかい程曲がりやすい。その為10番ピンを力バーする為曲がりづらいボウルを使う。云々のスペアボウルである。中央の大会では、5〜7個のボウルを持つて行く。その日のレインコンディションに合わせる為だ。値段の高いボウルがよりストライクが出る訳ではないが、そこは選手の心理から新発売のボウルに飛びつきやすいが4万〜5万円もするので選手

の負担も大変だ。ボウルには大きさ、硬度の制約もあり、公式大会にはボウルの検査があり全て規格に合わなければならぬ。ボウル以上に重要なのがシューズである。シューズの底には左足にはレザーが張ってあり最後のスライスをスムーズに成る。しかしアプローチ上は滑りやすくなつており、片側に重いボウルを持つての助走なのでバランスがくずれない様右足にはラバーが張ってあり踏ん張れる様になってくる。センターの靴は左利きにも使える様左右共レザー張りだ。すべりやすいので初心者によく転ぶ事がある。私達が競技する会場は公益財団法人全日本ボウリング協会の公認会場である。レインの凸凹があるか垂直度等年に1度の検査がある。そこで初めて記録の公認が出来る。ボウリングファンの皆様も厳しい中にも楽しいスポーツボウリングを始めませんか。

『諦めない気持ち』

深谷市野球連盟

理事長 須藤 浩一

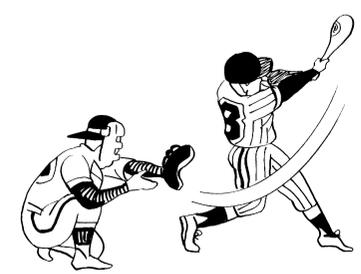
最終回、3点リードされる展開、2アウトランナー1塁、3ストライク目、バッター空振り三振でゲームセットのはずが、ここからドラマは始まった。

ワンバウンドした投球をわずかにそらしたキャッチャーは、その球を拾い、一塁へ送球したが、雨で緩んだグラウンドに足を取られ暴投してしまつた。続くバッターは、粘つて四球を選び満塁。次の打者の打球は、快音を残し、

レフト線を破る快心の一打。3人のランナーが帰る同点。その後、特別延長戦に入り、2点のリードを許すが、3点返しサヨナラ勝利。劇的な幕切れとなつた。

中学生は、技術的には未熟で、決して上手ではない。でも、一生懸命、勝利に向かうひたむきな姿は、心地よい。いつまでも、この純粋な気持ちをもち続けて野球に取り

組んでもらいたいものだ。市内の高校では、昨年から選手不足で休部となつたチームもある。野球人気に陰りが見える。中学生が魅了した心地よいプレーを高校、大学、社会人へとぜひつなげてもらいたいものだ。



深谷市野球連盟 携帯サイト

近況報告

深谷市ラグビーフットボール協会

理事 木口 義見

本協会は、スクール、中学生、高校生、社会人と各部会があります。スクール部会では入門編としてラグビーボールになれラグビーの楽しさを中心に指導を心掛けています。中学生部会では競技スポーツとしての入門として基礎的な練習を通し競い合う楽しさを指導しています。23年度は深谷南中学が県体で優勝を飾り関東大会でも優秀な成績を飾りました。高校生部会では深谷高校と正智深谷

高校が県の中でもトップクラスの強さを見せ、全国大会の決勝では深谷ダイビーとなり、深谷高校が勝ち、全国大会へ出場をし、3回戦へ勝ち進みましたが惜しくも敗れベスト16となりました。社会人部会では深谷ワイルドスターが県の社会人大会を制し優秀な成績を収めています。そして最近では、60歳以上の方たちのチームもでき色んな県のチームと交流試合を行い生涯スポーツの素晴らしさを楽しんでいます。そして、2019年にはラグビーのワールドカップが日本で開催が決まり、7人制ラグビーがオリンピックの正式種目にブラジル大会からなり、普及活動にも日本協会が力を入れ始めています。まだマイナーなスポーツですが、これから一番世界に近いスポーツになるかもしれません。



深谷市 陸上競技協会の活動

深谷市陸上競技協会

会長 原口 音吉

深谷市陸上競技協会は、本会長を中心に市内在住者35名で構成し、うち21名が日本陸上競技連盟公認審判員の資格を有して、埼玉県選手権や東日本実業団選手権をはじめとする県内で行われる公認競技会や各種駅伝大会等の審判員として活動しています。市内では11月の東日本実業団駅伝、1月の埼玉駅伝、2月のふかやシティハーフマラソン大会で競技役員、競技審判員を全員参加して



います。また中学生の市予選会(通信大会、総合体育大会、新人戦)と仙元山スポーツフェスタで審判協力をしていきます。また中学生の市予選会(通信大会、総合体育大会、新人戦)と仙元山スポーツフェスタで審判協力をしていきます。また中学生の市予選会(通信大会、総合体育大会、新人戦)と仙元山スポーツフェスタで審判協力をしていきます。

太極拳連盟の現状等

深谷市武術太極拳連盟

会長 吉岡 文男

太極拳の起源については5つほどあるといわれていますが、河南省温陳家溝の第9世陳王廷に始まるとする説が最も有力とされています。陳王廷が全く個人の力によって太極拳がつくられたのではなく、多くの人が太極拳の起源に関わったのだとされています。太極拳は武術を整理する中で陰陽の思想や中国古代の「導引法」「吐納法」を統合させることによつて出来上がったので、今では三百数十

年の歴史を持つていとされています。日本では1960年代はおおよそ普及している状態ではなかったとされています。1984年に「第1回全日本太極拳中国武術大会」を開催した以降飛躍的に発展されたといわれています(太極拳指導教本より)。なお、当市では市教育委員会主催の第1回太極拳教室が1988年の春開催され、それ以後関係者の普及活動により現在約210余名の方々で10教室で毎週楽しんでいく状況です。

○昨年の活動状況等について
(1) 深谷地域の納涼祭などに2回約20数名が参加し簡化太極拳24式や32式太極剣などを表演し地域密着化を図っています。
(2) 会員のさらなるレベルアップを図るために連盟内の指導者による講習会や外部指導員による、まる1日中の講習会を実施し50余名が受講し



つながりです。最後にになりますが陸上競技協会では会員の募集も行っていきます。現役選手登録はもちろん、年一回開催される県陸協主催の審判員講習会を受講して公認審判員資格を取得することもできますので、興味のある方ぜひご連絡ください。

生涯スポーツとしての普及

深谷市ソフトバレーボール連盟

会長 八須 由憲

ソフトバレーボールは、平成23年度から小学校の体育教材の必修科目として導入されました。1チーム4人の構成で、柔らかい親しみやすいボールを使用し手軽に、年齢や体力、男女別、技術等のレベルに応じて多様な楽しみ方ができます。

年毎に一般(男女混合)の部での連盟登録チーム数が増えていることに、大変嬉しく思っています。熊谷市も3年前にソフトバレーボール連盟

を設立しました。他の市、県に登録して大会に参加している深谷のチームも増えています。中、近隣の連盟との交流を深谷市の連盟として、これからは図っていきたくと考えています。

昨年は東日本大震災により、4月の大会が中止となりました。原発事故により避難している双葉町の皆さんに、当連盟の役員、実業団や五輪出場した選手達がソフトバレーボールによるボランティア活動を現在も行っています。そのご縁が有って、9月の大会に全日本女子バレーボール監督、岩本洋氏や五輪出場選手が参加して頂きました。県、内外の招待チームも含めて交流会やイベント等も行い、大変盛況に楽しい素晴らしい大会が出来たことを感謝しています。

岩本先生は日本バレーボール協会の公認講師、日本ソフトバレーボール連盟の理事に参加させていただきます。各予選会では、ほとんどの種目が深谷市と大里郡の二地区一緒に行い、1つの県大会出場枠を争うことになっています。中体連の大会は陸上・野球・バレーボール・サッカー・バスケットボール・ソフトテニス・卓球・剣道・柔道・水泳・バドミントン・ラグビーフットボールの13の専門部に分かれて大会を運営しています。

今年も地区予選を勝ち抜き県大会での活躍はもちろん、関東・全国大会での活躍を目指して日々の練習に取り組んでいます。

中体連の活動

深谷市中学校体育連盟

理事 小神野 透

深谷市中学校体育連盟の活動は大きく分けると大会等の競技部と、授業研究などの研究部の二つに分かれます。競技部では、主に大会の企画・運営を、研究部では授業研究等を行っています。

中体連の大会は6月に行われる学校総合体育大会の予選会、10月の新人兼県民総合体育大会の予選会や、5月に行われた通信陸上大会市予選会、10月末の駅伝競走大会の4つです。その他、本体育

運動不足で体力のない子供達が増えている今日です。この機会に、中体連の大会に市体協の各団体から審判や役員を派遣して頂くことや市の施設を利用するにあたり配慮していただいていることに対してこの場を借りて深くお礼を申し上げます。

深谷市陸上競技協会の活動は、市内在住者を中心に構成され、日本陸上競技連盟公認審判員の資格を有して、埼玉県選手権や東日本実業団選手権をはじめとする県内で行われる公認競技会や各種駅伝大会等の審判員として活動しています。

深谷市太極拳連盟の活動は、本会長を中心に市内在住者35名で構成し、うち21名が日本陸上競技連盟公認審判員の資格を有して、埼玉県選手権や東日本実業団選手権をはじめとする県内で行われる公認競技会や各種駅伝大会等の審判員として活動しています。

深谷市ソフトバレーボール連盟の活動は、平成23年度から小学校の体育教材の必修科目として導入されました。1チーム4人の構成で、柔らかい親しみやすいボールを使用し手軽に、年齢や体力、男女別、技術等のレベルに応じて多様な楽しみ方ができます。

- 空手道連盟
- 弓道連盟
- 剣道連盟
- ゴルフ連盟
- サッカー協会
- 山岳連盟
- 少林寺拳法連盟
- 柔道連盟
- 水泳連盟
- スキー連盟
- ソフトテニス連盟
- ソフトボール協会
- 卓球連盟
- テニス協会
- バスケットボール連盟
- バドミントン連盟
- バレーボール連盟
- ボウリング連盟
- 野球連盟
- ラグビーフットボール協会
- 陸上競技協会
- 武術太極拳連盟
- ソフトバレーボール連盟
- 中学校体育連盟

- 新 精一
- 飯 島 千代子
- 剣 持 昭夫
- 渡 辺 郷一
- 八 田 浩一
- 武 井 正男
- 吉 野 忠行
- 河 田 英一
- 矢 嶋 進
- 田 島 克久
- 平 崎 清治
- 篠 崎 光長
- 神 宮 公次
- 大 沢 隆誠
- 菅 間 隆惇
- 卜 部 一男
- 里 見 喜司
- 村 田 寛
- 今 村 光次
- 小 山 吉彦
- 北 本 政夫
- 吉 岡 文男
- 八 須 由憲
- 松 島 猛

深谷市体育協会 加盟団体会長

市民サッカー大会

小学4年生	セレプロFC Jr
小学5年生	桜ヶ丘スポ少
小学6年生	パイヤFC Jr
中学1年生	深谷中、上柴中
中学2年生	幡羅中
壮年の部	深谷SFCフェニックス(50)
フットサルの部(第13回)	ぶっとびーず
フットサルの部(第14回)	RE:Volvber



市民ソフトボール大会

一般男子2部	花園ファイターズ
一般男子3部	中瀬ソフトクラブ
壮年の部	岡里ソフトボールクラブ
中学生	幡羅中学校
小学生	花園女子ソフト



市民少林寺拳法大会

形

小学生7級以下	小林 颯人
小学生4~6級	神沼 匠
小中学生1~3級	大川原 潤
小中学生有段者	伊藤 佑馬
高校女子	川田 美紗
高校男子	伊藤 駿汰
一般	山本 拓則

組演武

小学生7級以下	手計 竜弥/入澤 駿太
小学生4~6級	関 藍花/石橋 一樹
小中学生1~3級	島田 暖基/隅田 昂希
小中学生有段者	伊藤 沙羅/伊藤 佑馬
高校女子	川田美紗/山本明日香
高校男子	駒形 稜/廣瀬浩太郎
一般	松澤 正之/島田 浩孝

団体

少年団体	神川スポーツ少年団A
------	------------

市民卓球大会

シングルス

一般男子	野口 憲一
一般女子	松澤 祐子
シニア	伊藤 雄司
ママ	尾崎富美子
グランドシニア	平山 雅康
高校生	神田 光希
中学生男子	伊藤 正博
中学生女子	新井 美佑

ダブルス

男子	山中 優介・八木 芳憲
女子A	松澤祐子・根岸富士美
女子B	尾崎富美子・阿弓宏子



市民剣道大会

個人戦

基本の部	大久保陽平
小学生3年生以下の部	芝 祥子
小学4年の部	伊藤 潤
小学5年の部	竹島 繁輝
小学6年の部	石川 美咲
中学男子の部	鈴木 友馬
中学女子の部	土田 理桜
高校男子の部	土田洸太郎
高校女子の部	野口 彪

団体戦

小学生	幡羅剣友会
中学生男子	深谷中学校
中学生女子	南中学校
高校生男子	深西剣友会
高校生女子	深谷商業高校



市民クライミング大会

少年少女の部(中学生以下)	八須 俊彦
成年女子	鈴木 明子
成年男子	吉松 和裕

市民バレーボール大会

小学生A	蓮田ブロッコリーズ
小学生B	芳野JVC
小学生C	ジュニア深谷ガールズ
小学生S	大桑少女バレーボール
中学生男子	上柴中学校
中学生女子	深谷南中学校
一般男子	たまご
家庭婦人A	上柴ベアーズ
家庭婦人B	MILLY
家庭婦人C	ホワイトベア
家庭婦人D	ファンタジー
シニア	元気なかめさん



市民弓道大会

高校男子	上野 拓海
高校女子	伊藤 夢香
一般男子	中野 忠雄
一般女子	村岡 昌美



市民野球大会

一般1部	オリオンズクラブ
一般2部	ライナーズ
一般3部	東基
生涯野球の部	深谷クラブ



市民ソフトバレーボール大会

一般の部	H
レディースの部	Leek's
シニアの部	鴨ねぎセブン

平成23年度 市民大会結果 (優勝のみ・敬称略)

市民ラグビーフットボール大会

中学2年生	南中
中学1年生	深谷中

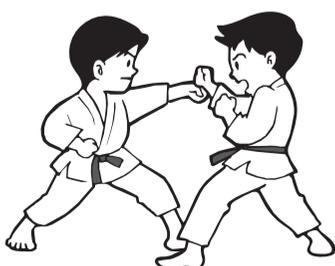
市民空手道大会

形の部

幼児	木村 瑠海
小学生1年男子	三田虎士朗
小学生1年女子	高橋りさ子
小学生2年男子	村田 竜一
小学生2年女子	野別 未来
小学生3年男子	内田 慶
小学生3年女子	知久瑠璃子
小学生4年男子	大賀 友弘
小学生4年女子	山川 遥香
小学生5年男子	根岸 亮太
小学生5年女子	梅澤 萌
小学生6年男子	佐藤 拓海
小学生6年女子	竹下 綾香
中学生男子	塙 聖司
中学生女子	小林 美帆
高校生・一般男子	新井 元気
高校生・一般女子	剣持 麻美
35歳以上男子	常見 朗

組手の部

幼児	井上 史崇
小学生1年男子	浜名 颯斗
小学生1年女子	高橋りさ子
小学生2年男子	小野 響聖
小学生2年女子	杉田 董
小学生3年男子	山本 陽太
小学生3年女子	上妻 星南
小学生4年男子	関根 謙斗
小学生4年女子	中井 舞
小学生5年男子	高山 大輝
小学生5年女子	山川 未央
小学生6年男子	後藤 颯斗
小学生6年女子	岩下由貴那
中学生男子	高杉 健介
中学生女子	臼方菜々海
高校生男子	田中 瑞樹
一般男子	横田 尚悟
高校生・一般女子	森 仁子
35歳以上男子	松本 貴志



市民スキー大会

大回転

ジュニアの部	中里 圭佑
マスターズの部	伊堂 則夫
一般女子の部	大澤 玲
一般男子Bの部	猪野 賢介
一般男子Aの部	安斉 国洋

回転

ジュニアの部	中里 圭佑
マスターズの部	坂爪 良平
一般女子の部	中野 頌子
一般男子Bの部	猪野 賢介
一般男子Aの部	安斉 国洋



市民武術太極拳大会

個人の部

入門太極拳	永原 和代
簡化24式	加藤千枝子
32式剣	加藤千枝子

団体の部

入門太極拳	萩の会
簡化24式	宙の会

市民ゴルフ大会

団体の部

個人ネットの部	常盤会D
個人女子の部	飯野 誠二
男子グロスの部	宮川恵理子
女子グロスの部	後藤 吉治
	宮川恵理子



市民クロスカントリー大会

小学5・6年男子の部	馬場 一樹
小学5・6年女子の部	秋山 紗希
中学男子の部	今井 優作
中学女子の部	安藤 実子
高校男子の部	山科 丈
一般男子の部	松平 洋一
一般・高校女子の部	國見 理恵

市民テニス大会

シングルス

男子A	樋口 賢二
男子B	谷ツ田太一
男子C	田島 乗
男子ベテラン	井上 憲紀
女子A	柴田真紀子
女子B	中澤 彩乃
女子C	水野 直美

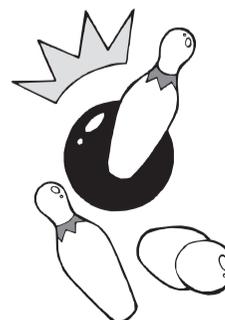
ダブルス

男子A	渡辺 祐之・松本 啓亮
男子B	塚越 達雄・坂庭 和彦
男子C	新井 敬祐・森田 桂伍
男子ベテラン	大澤 誠・井上 憲紀
女子A	武藤 行子・黛 芳子
女子B	野村 裕子・蛭川 理恵
女子C	福地 美見・木村 桃子



市民ボウリング大会

ユース (29歳以下)	長澤 知靖
ミドル (30・40歳代)	天野 純孝
シニア (50歳代)	石川 喜一
マスターズ (60歳以上)	志村 安雄
女子	東出 泰子
個人総合 (6ゲーム)	志村 安雄



平成23年度 市民大会結果 (優勝のみ・敬称略)

市民水泳大会

男子の部

自由形25m

小1～2年	門倉 慎吾
小3～4年	下田 啓太
小5～6年	贄田 拓真
中学生	小和瀬大貴
30歳代	渡部 巧一
70歳代	鈴木 栄次

自由形50m

小1～2年	遠藤 栄治
小3～4年	贄田 圭吾
小5～6年	田中 元基
中学生	須藤 聖樹
30歳代	松井 正樹
40歳代	石川 正孝

自由形100m

小3～4年	贄田 圭吾
小5～6年	田島 優
中学生	森 隆浩

背泳25m

小1～2年	高山 泰徳
小3～4年	福島 直希
20歳代	野中将太郎
70歳代	鈴木 栄次

背泳50m

小1～2年	高橋奏夏人
小3～4年	金窪 亮佑
小5～6年	川村 拓海
中学生	齋藤 晴樹
20歳代	野中将太郎

平泳ぎ25m

小1～2年	田中嶋柊平
小3～4年	安島 優汰
中学生	小和瀬大貴

平泳ぎ50m

小1～2年	田中嶋柊平
小3～4年	日比 真優
小5～6年	田中 元基
中学生	石川 陽大

平泳ぎ100m

小3～4年	佐曾利隆之
小5～6年	戸澤 諄也

バタフライ25m

小1～2年	高山 佳大
小3～4年	原口 琳穂
60歳代	中原 澄生

バタフライ50m

小1～2年	上條 琉聖
小3～4年	若林 幸希
小5～6年	兵藤 律希
中学生	保泉 有哉
30歳代	間根山 剛

バタフライ100m

小3～4年	森 二千翔
小5～6年	兵藤 律希
中学生	井上 大知
30歳代	古澤 将至

個人メドレー 100m

小1～2年	遠藤 栄治
小3～4年	森 二千翔
小5～6年	柴崎 空
中学生	保泉 有哉
30歳代	間根山 剛
40歳代	藤原 充
40歳代	山口 晃一
50歳代	藤崎 秀一

個人メドレー 200m

小3～4年	佐曾利隆之
小5～6年	贄田 拓真
中学生	石川 陽大
30歳代	松井 正樹
40歳代	藤原 充

女子の部

自由形25m

小1～2年	田村 玲美
小3～4年	中澤 菜摘
30歳代	飯島 彩子
50歳代	片桐 好子

自由形50m

小1～2年	筑井凜々子
小3～4年	岩城 玲那
小5～6年	末 彩香
中学生	野沢 百花
30歳代	飯島 彩子
60歳代	野口 啓子

自由形100m

小3～4年	桑原 鈴
小5～6年	三好野乃子
中学生	山口 茜

背泳25m

小1～2年	福島 成桜
小3～4年	茂木 美宙
中学生	村田 美紅

背泳50m

小1～2年	宮坂 夏実
小3～4年	佐藤 凜花
小5～6年	齋藤 優
中学生	小林 美玖

背泳100m

小3～4年	桑原 鈴
小5～6年	齋藤 優
中学生	小林 美玖

平泳ぎ25m

小1～2年	岡本季咲良
小3～4年	中澤 菜摘
中学生	高橋 花帆
60歳代	野口 啓子

平泳ぎ50m

小1～2年	田部井颯希
小3～4年	遠藤 千砂
小5～6年	安嶋 亜美
中学生	新井 由美

平泳ぎ100m

小3～4年	遠藤 千砂
小5～6年	石川 美穂
中学生	込山 未結

バタフライ25m

小1～2年	桜井 遥香
小3～4年	青木日向香
小5～6年	須藤 凜香
中学生	酒井みのり

バタフライ50m

小1～2年	宮坂 夏実
小3～4年	長谷川琴菜
小5～6年	桜井 美咲
中学生	石川ひかり

バタフライ100m

小5～6年	桜井 美咲
中学生	石川ひかり

個人メドレー 100m

小1～2年	遠藤 菜桜
小3～4年	岩城 玲那
小5～6年	中野 実歩
中学生	込山 未結
50歳代	片桐 好子

個人メドレー 200m

小1～2年	筑井凜々子
小3～4年	長谷川琴菜
小5～6年	吉野 朱莉
中学生	山口 茜



市民柔道大会

幼年の部

小学1年生の部	田尻 有蘭
小学2年生の部	藤井 響
小学3年生女子の部	福島 浩輝
小学3年生男子の部	井田 朋伽
小学4年生女子の部	小林 隼
小学4年生男子の部	大谷 彩実
小学5年生女子の部	新福 大空
小学5年生男子の部	高橋 珠理
小学6年生女子の部	大谷 望夢
小学6年生男子の部	佐野明花里
中学1年女子の部	小林 和正
中学1年男子軽量の部	大谷 麻稀
中学1年男子重量の部	大鷲 拓人
中学2年女子の部	高橋 瑠璃也
中学2年男子軽量の部	荒木 樹羅
中学2年男子重量の部	澁沢 純
中学3年女子の部	高田 康弘
中学3年男子軽量の部	青木 佳奈
中学3年男子重量の部	松本 陵介
高校一般無段者の部	茂木 雄大
高校一般有段者の部	立石 幸太
中学団体男子	堀切 良員
中学団体女子	寄居中